

新入職員オリエンテーション



生協グループとなり初年度の辞令交付式が開催され、今年は医科研修医6名、歯科医師1名を含む45名が入職しました。2日間にわたるオリエンテーションで、生協の仕組みや業務における重要事項の研修を受けました。同期として悩みを相談できる同期会も結成され、切磋琢磨が期待されます。

利根中央病院のロゴマーク決定

利根中央病院のシンボルマークをつくろうと内外からアイデアを募り、全職員参加による投票を行い、2019年4月22日に下記ロゴマークに決定いたしました。

重なりあう二つの「T」は利根中央病院の頭文字。人と人がささえ合い、結びついている姿を表しています。2色で作られたハートは通い合う心、生命の大切さを、緑とオレンジは山と太陽、明るくあたたか、自然豊かな地域を大切にすることを表現しています。



きらめき トピックス

「こどもの救急」講演会開催



2月20日、NPO法人やわらによる「こどもの救急」をテーマとした講演会が開催されました。当院小児科・山田諭先生を講師に迎え、こどもの救急時の対応等をしっかり学ぶことで家庭看護力が高まり、お子さんの保護者の不安解消と適正な受診へつながる内容となりました。また、やわら代表者の狩野看護師による正しい手の洗い方講座も行われ、「汚れは残っていないかな？ 爪の周りが洗えてないね…」と日頃の手洗い方法を見直すことができました。

臨床研修病院等見学バスツアー

3月8日に群馬県内の臨床研修病院等を見学するバスツアーが行われました。当院にも4名の医学生が来院し、院内見学や研修医・上級医との懇談を行いました。今回は院内見学も研修医に関わっていただきとても好評でした。懇談の時には「研修先の決め方」等について様々な質問があり、医師達からも親身になってアドバイスしていただきました。短い時間ではありますが、病院の雰囲気を知ってもらえる良い機会となりました。



利根中央病院だより

きらめき



第51号
2019年 春号

発行責任者 利根中央病院 院長
編集責任者 利根中央病院 事務長
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1
TEL: 0278-22-4321 (代表)
FAX: 0278-22-4393
URL: <http://www.tonehoken.or.jp/>

研修医の紹介とごあいさつ

研修プログラム責任者 副院長 吉見 誠至



新年度を迎え、当院に新たに初期研修医6名が加わります。初期研修医には研修期間中に医師としてのしっかりとした基礎をつくって、地域の医療にも貢献してくれることを期待しています。

当院の研修の強みとして、総合診療科での研修が挙げられますが、屋根瓦体制をしいたチームで初診から入院・退院まで担当医として診ることで、しっかりとしたプライマリケアの力が身につくものと日頃感じています。また当院の研修担当の事務部門が研

修医からの相談ごとから研修行事への対応など非常に頑張ってくれていることが、充実した研修につながっているものと感じています。

昨年当院は卒後臨床研修評価機構(JCEP)の外部評価を受け、認定病院(4年間)として認められました。このことに慢心することなく、よりよい研修ができるように今後も改善をはかっています。今後ともよろしくお願い致します。

滝沢 大樹

今年度より研修医としてお世話になる滝沢大樹と申します。出身は群馬県の嬬恋村で、利根よりも自然と動物に溢れた田舎で野山を駆け回って育ちました。なので色々迷惑をかけてしまうことも多いと思いますが、どうかよろしくお願い致します。



加藤 悠介

今年度より入職致しました加藤悠介と申します。地元昭和村出身で、利根沼田の医療に貢献させていただきたく、研修病院として志願致しました。まだまだ未熟ですが、皆様の力になれるよう日々努力してまいります。



鹿野奈津美

今年度よりお世話になります。私は、高崎市出身で自然の中で体を動かすことが大好きです。小学生からの夢が叶い、ご縁があってここで働かせていただけてとても嬉しいです。皆様のお役に立てるよう成長していきますのでどうぞご指導よろしくお願い致します。



上原 弘聖

今年度から入職いたしました上原弘聖と申します。大学ではバスケットボールをやっていました。利根沼田の地域医療に微力ながら貢献出来たらと思っています。ご迷惑をお掛けすることもあるとは思いますが、ご指導よろしくお願い致します。



佐藤 慶一

福岡県の産業医科大学から来ました研修医の佐藤慶一と申します。医師として日が浅く、まだまだ未熟ではありますが、皆様の健康を最優先に患者さん一人一人と真摯に向き合い精進していきたいと考えております。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



橋本健太郎

初期研修医1年目の橋本健太郎と申します。学生時代は陸上部で長距離をやっていたので走るのが得意です。利根沼田地域の皆様との1日1日を大切に過ごし、医師として成長したいと思っています。よろしくお願い致します。



呼吸器ケアチームの活動について

看護師 原澤 聖



RCT (RespirationCareTeam) とは、呼吸ケアチームのことで人工呼吸管理を含む呼吸ケア全般の技術、知識及び安全性を向上することを目的としたチームとされています。当院の呼吸器ケアチームは3A・HCU病棟から発足し、メンバーを編成しながら2018年9月に現在のメンバーとなりました。人員構成は医師、看護師、臨床工学士、理学療法士、歯科衛生士からなります。本チームもRCTと同等な役割を担えるよう活動しています。

活動内容は月1回の会議を行い、呼吸器に関する問題をチームメンバーで討議し解決にあたることを

目標としています。対象は人工呼吸器装着患者から酸素療法を行っている全ての患者様です。今年1月には、会議の中で問題に上がった「吸引の手技について」を学習会として企画し開催することができました。

今後も継続して会議を行い、呼吸器に関する問題を討議していきたいと思えます。他にも「人工呼吸器について」「体位排痰の方法」についての学習会を企画しています。また人工呼吸器装着患者のラウンドやVAP（人工呼吸器関連肺炎）予防についても積極的に取り組んでいきたいと考えています。



吸引学習会の様子



呼吸器ケアチームの取り組み



呼吸器ケアチームメンバー

皮膚科診療体制

～上手にご利用ください～

永井 弥生 (非常勤)



■完全予約制です

2018年度から、非常勤ではありますが、週4日程度の診察日を保つようにしています。予約制、若干不定期な診察日でご迷惑をおかけしていますが、ご協力いただきありがとうございます。

診察予定日は外来に掲示、HPにも掲載していますので確認いただき、早めの予約をお願いします。緊急で治療の必要のある場合は適宜対応させていただきます。

皮膚科外来診察日 薬を使ってもよくならない！再度受診して相談しましょう。聞きたいことは尋ねましょう。

2019年5月 ○午前 ○午後

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

※受診は予約制となります。

■手術にも対応、褥瘡は地域でとりくむ皮膚科入院としての対応はしていませんが、内科や外科の先生方にご協力いただき、入院の上での必要な治療を行ってきました。手術は、皮膚腫瘍切除の小手術を中心として、悪性腫瘍の手術、熱傷の植皮術なども行っています。

また、褥瘡（床ずれ）については、チーム医療として取り組んでいます。地域として、ひどい褥瘡を発生させないように連携が重要です。勉強会の機会などにぜひご参加ください。

■陥入爪（巻き爪）の新規治療

昨年11月より陥入爪（巻き爪）のプ

ラスチック装具による新しい治療を始めました。自由診療になります。群馬県内の医療機関でこの治療を行っているのは当院だけです。投薬が必要な化膿している巻き爪の方も多いため、病院でこの治療が行えることにより治療の選択肢が増えます。これまでの治療で不十分であった患者さんから、痛みが取れたと喜んでいただいています。

皮膚科の専門性を活かした診療を提供できるよう、院内および地域の皆様と協力していきたいと思えます。

引き続きよろしくお願いいたします。

